

高齢化対応へ意見交換

OCHIS

健康管理ポイント説明

【大阪】NPO法人ヘル
スケアネットワーク(OC
HIS、武田裕理事長)は

10月10日、大阪市で運輸業
界の高齢化への対応と働き
方をテーマに、安全と健康
を推進する協議会「両輪三
を開き、高齢ドライバーの
健康管理や安全対策につい
て意見を交わした。

作本貞子副理事長は「働
ける限りは働きたいとい
う高齢者が増える一方で、高
齢ドライバーによる事故も
相次いでいる。安全と健康
の両面から、高齢者の就労
促進や働き方改革への対応

について考えていきたい」と述べた。

情報提供では、OCHISの黒田悦子保健師が「運輸ヘルスケアシステム」を活用した高齢ドライバーの健康管理のポイントを説明。橋詰凜帆保健師は「高齢ドライバーの聴力の状況と課題」について講演し、加齢性難聴と認知症の関連性について解説した。また、合通の梅田貴之総務部長が高齢化に対応した自社の健康管理を紹介した。

この後、①IT(情報技術)と運転②健康年齢の指標③中高年のモチベーション対応——などをテーマにグループディスカッションも行われた。(小菓史和)